

鉄道施設耐震補強促進事業について

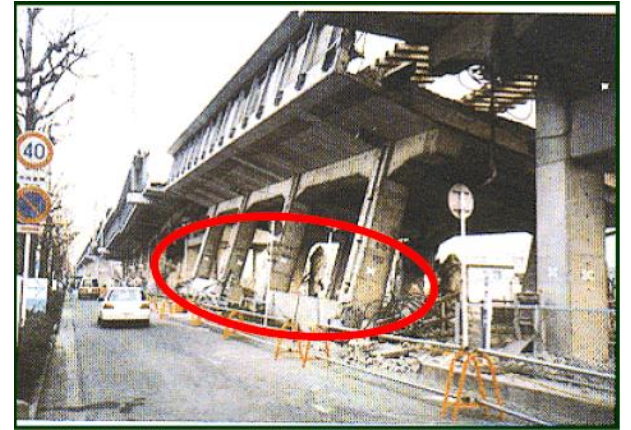
事業の背景

- ・ 阪神・淡路大震災では、駅や高架橋などが大きく破壊し、倒壊するなどの被害が発生した
- ・ 東日本大震災においては、鋼板を巻く等の耐震補強をした柱には倒壊の被害がなかった
- ・ 発生が切迫している南海トラフ巨大地震の防災・減災対策が喫緊の課題となっている

事業の内容

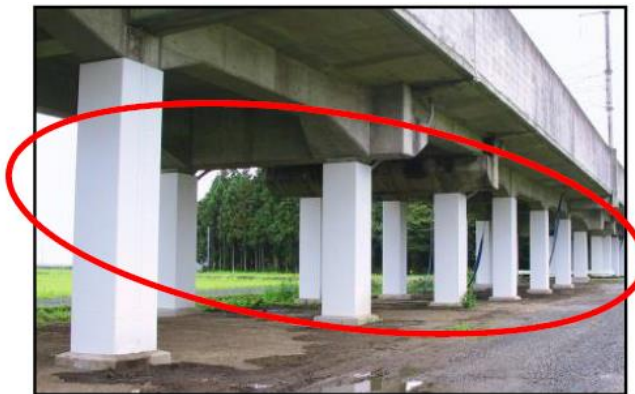
- ・ 大規模地震による鉄道施設の被害の未然防止や拡大防止を行う耐震対策事業に要する経費の一部を補助することにより、列車の安全運行及び鉄道利用者の安全確保を図るとともに、発災時における緊急応急活動の機能を確保する

阪神・淡路大震災時の高架橋の被害



高架橋等が大きく破壊し倒壊する被害が発生

東日本大震災発生後の高架橋の被害



鋼板を巻く耐震補強により倒壊の被害なし